

らしつよチャレンジ 2020 「先輩から後輩へ ー図書館 commons とオンラインを活用したアカデミックスキルの継承ー」

活動地域、場所等： 京都女子大学図書館ラーニング commons・オンライン commons
 活動時期： 2020年4月～ 2021年3月
 代表者所属・氏名： 文学部史学科4回生 森近天音

事業の目的

- 学年学科の枠を超え、生徒同士が情報を伝達・共有でき、議論しあえる空間の構築
- コロナの状況下で使用しづらくなっている大学図書館のラーニング commons に代わるオンライン上での生徒の交流の場の構築

事業の成果

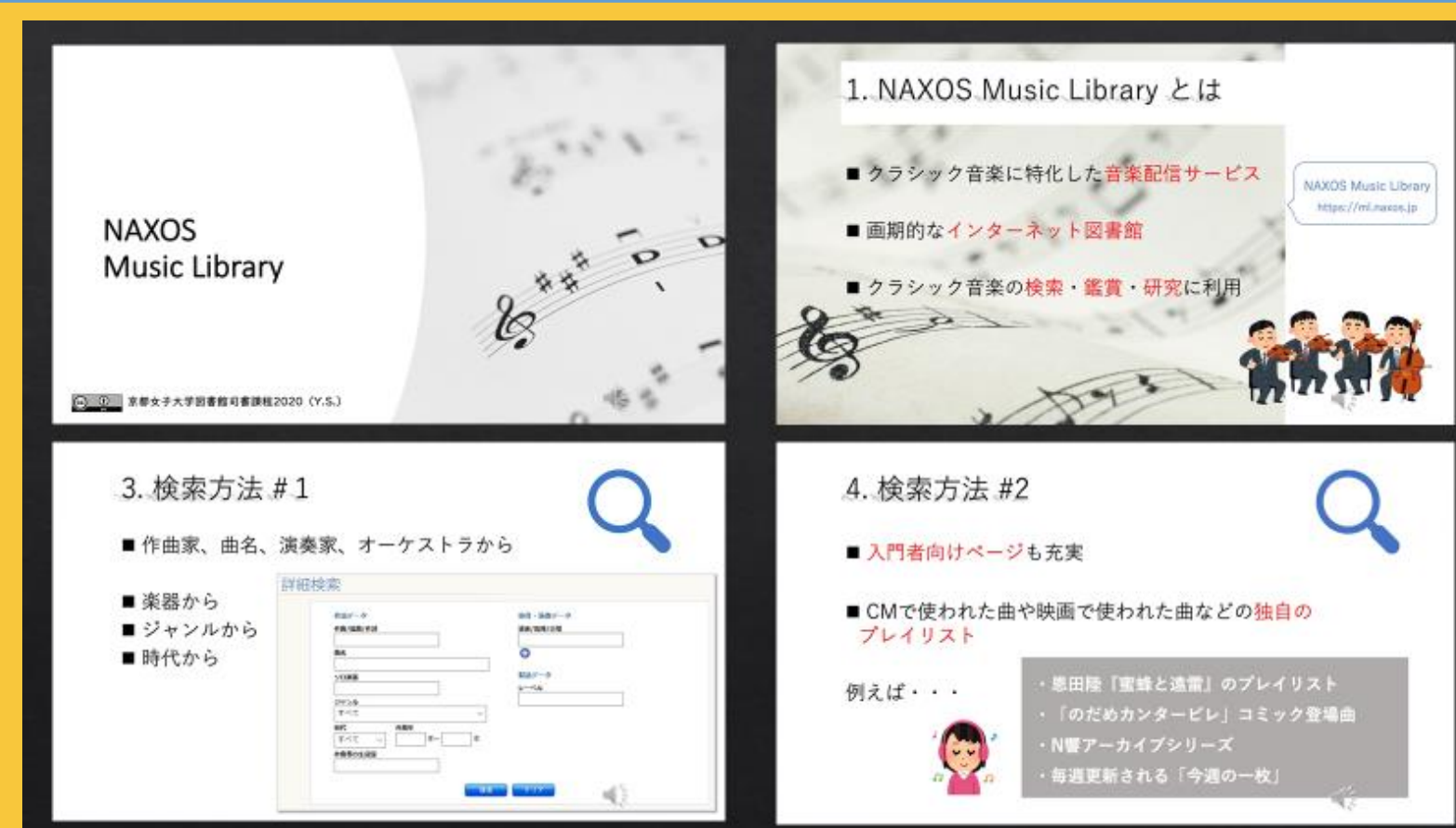
- 調査研究に役立つデータベースの紹介動画を作成
 - 3回にわたるオンライン commons の開催
 - 2/11: 卒業生から後輩へ: 就活トーク
 - 2/15: 後輩から先輩へ: なんでも相談会
 - 3/12: 先輩から後輩へ: 語学クラス指南
- 生活、勉強面に
関する不安の解消

活動の様子: データベース紹介動画

データベース紹介動画 (前期制作)

- ◇ OPAC, My Library
- ◇ ジャパンナレッジ
- ◇ CiNii Articles
- ◇ 新聞データベース (朝日「聞蔵」、読売「ヨミダス」)
- ◇ 日本近代文学館
- ◇ 和歌&俳諧ライブラリー
- ◇ NAXOS Music Library
- ◇ Maruzen eBook Library
- ◇ Google Arts & Culture

紹介動画の一部 (ジャパンナレッジ・NAXOS Music Libraryの紹介動画の抜粋)



後輩からのコメント

↑紹介した動画
(学術論文、芸術作品、電子ジャーナルなど、幅広い種類のデータベースを紹介している)

ジャパンナレッジ

こんなときに使います

- 課題のために本を読んでいたらわからない単語が出てきた
- もうちょっと詳しい説明が見たい情報がほしい

その他の便利な機能

- Knowledge Searcher
記事本文中で検索したいワードをドラッグして選択すると検索結果が表示される機能

- ◇ 音声付きのスライドかつ、データベースの実際の画面も表示されていたので、非常に分かりやすかった。
- ◇ クラシック音楽は、あまり聞きませんが、この機会に使ってみようと思った。
- ◇ 初めて知ったサービスだったが、とてもわかりやすかったので今後使用してみたいと思った。

活動の様子: オンライン commons

第1回オンライン commons

日時: 2月11日 14:30~15:30
 テーマ: 卒業生から後輩へ: 就活トーク
 (ゲスト: 2019年度卒業生/学校司書)
 内容: 新卒で学校司書として活躍している卒業生が、後輩に向け、就活のアドバイスや体験談を語る。また、就活や司書課程に関する質問に答える。
 参加者: 現役生17名 (国文6名、史学4名、家政2名、現社3名、英文1名、心理1名) + 卒業生1名

実際の話合いの様子



- ◇ 他学部の人の話を開けたのはよかったが、もう少し人数が多ければ、同じ学部や学科ごとのグループに分けて話をしてみてもいいのかもしれないと思った。
- ◇ 伝えたいことは伝えられたと感じる。ただ、折角の機会なのに参加者が少なかったのが勿体無いので、開催の時間帯を考慮ことや開催日数を出来るだけ増やすことといった工夫が必要かと思う。
- ◇ もう少し下級生が相談したいテーマを細分化し、1つ1つ話し合いの時間を区切ったほうが、話題に対しての内容の密度が上がるのではないかと思った。

↑第2回 commons 終了後の意見・アドバイス

第1・2回オンライン commons の内容

第2回オンライン commons

日時: 2月15日 14:30~15:30
 テーマ: 後輩から先輩へ: なんでも相談会
 (司会: 文学部4回生)
 内容: 3回生から院生の先輩が学内での生活や勉強面に関する後輩からの質問に答える。
 参加者: 大学生17名 (国文5名、史学4名、家政2名、現社3名、英文2名、心理1名) + 院生1名

第3回 commons のスライド (おすすめの観光地と映画の紹介スライドから一部抜粋)



今後の活動・見通し

引き続き、様々なテーマでオンライン commons を実施し、学生が自由に発言・交流できる機会を創出していきたい。また、生徒だけではなく、教師やOG、外部の方をゲストに招いたり、立場を越えた幅広い情報共有の場としてオンライン commons が機能するようにしていく予定である。